

宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」の概要

1. 施設の概要

- (1) 目的 重層的な支援体制のもと、発達障害を有する障害者（児）に対する支援を専門的・広域的に行う三次支援機関として、発達障害者（児）及びその家族等からの相談に応じ、適切な指導又は助言を行うとともに、関係機関等との連携強化を図り地域における福祉の向上を目的に支援を行います。
- (2) 施設種類 発達障害者支援センター
- (3) 施設名称 宮城県発達障害者支援センター「えくぼ」
- (4) 施設所在地 仙台市泉区南中山五丁目2番1号
- (5) 事業開始年月日 平成18年11月1日
- (6) 職員数 4人（専任・センター長兼務）
5人（委嘱の心理相談員）

2. 沿革

- 平成17年 4月1日 宮城県啓佑学園内に自閉症支援係を設置
平成17年10月1日 自閉症支援センター開設（独自事業）
平成18年10月1日 発達障害者支援センターに名称変更（独自事業）
平成18年11月1日 宮城県から委託を受け事業開始

3. 事業概要

- ① 総合相談窓口：電話またはメールにて、仙台市以外の宮城県内にお住まいの方（全年齢・関係性不問）を対象に、発達障害に関する相談について「えくぼ」常勤職員が対応します。状況に応じて関係機関と連携し、相談者の状態に合わせた提案・情報提供を行うことがあります。
- ② 専門相談（支援者支援）：18歳以上の発達障害を有する方に関わっている職員等を対象に、「えくぼ」が委嘱している心理相談員による機関コンサルテーションをはじめとした支援を行います。就労場面や日中活動場面における当事者のニーズや能力のアセスメントを踏まえたうえで、状況に応じて複数の関係機関とも連携します。
- ③ 普及啓発・ピアサポート活動：ホームページや啓発リーフレットの作成、毎年4月の「世界自閉症デー」「発達障害啓発週間」での啓発活動等を通して発達障害に関する理解の促進に努めます。また、書籍の貸し出し、研修会の開催や関係機関からの講師派遣依頼にも対応します。発達障害を有する方やそのご家族等がよりよい生活が送れるよう、互いに励まし・支えあうためのピアサポート活動をサポートします。